

令和2年11月27日

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和2年度上期（4～9月）決算についてお知らせします。

今期は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、輸送人員、営業収入とも昨年度に比べ大きく落ち込み、厳しい経営環境となりました。

■輸送人員 32万9,460人

（対前年比43.2%の減、東日本大震災の平成23年度に次ぐ低さ）

■営業収入 8,925万8千円（対前年比39.2%の減、開業以来過去最低）

1. 概要

（輸送人員）

上期の輸送人員については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、東京、大阪などの大都市圏に続き、本県においても4月16日に緊急事態宣言が発出され、県を跨ぐ不要不急の外出や大型イベントの開催自粛等により、人の移動が厳しく制限されたことにより大きく減少しました。

定期旅客については、県立高校の一斉休校や大学のオンライン授業の実施、テレワークの推進等により鉄道利用が大きく減少し、通勤、通学合わせて前年に比べ28.4%減の22万5,250人となりました。また、定期外旅客についても同様に、ネモフィラが見頃となる時期にひたち海浜公園が臨時休園になったほか、ロックインジャパン、お祭り、花火大会などが軒並み中止となり、前年に比べ60.7%減の10万4,210人となりました。

この結果、定期、定期外を合わせた上期の輸送人員は、前年に比べ43.2%減の32万9,460人となり、上期の輸送人員としては、東日本大震災に見舞われた平成23年度に次ぐ低さとなりました。

（営業収支及び当期純損益）

営業収入については、旅客運輸収入は輸送人員の大幅な減少により、前年に比べ47.8%減の6,021万となりました。運輸雑収についても、イベント等の中止により、商品売り上げが減少し、前年に比べ7.3%減の2,904万8千円となり、営業収益合計では、前年に比べ39.2%減の8,925万8千円となり、開業以来過去最低となりました。

一方営業費については、感染拡大が続く中、公共交通としての鉄道事業を継続したこ

とにより、安全運行のための整備費用など固定経費の支出に加え、感染拡大を防止するための臨時的な費用支出がありました。海浜公園へのシャトルバス輸送の中止やイベントに係る輸送経費の減少により、前年に比べ 17.6%減の 1 億 1,870 万 8 千円となりました。

この結果、営業外収益・費用を加えた経常損益は、2,927 万 3 千円の赤字となりましたが、国・県・市からの事業継続等に係る支援により、1,386 万 7 千円の赤字に留まりました。

2. 輸送人員

(単位：人)

区 分	定期旅客			定期外旅客	合 計
	通勤定期	通学定期	定期計		
元年度上期	108,722	205,920	314,642	265,491	580,133
2 年度上期	94,896	130,354	225,250	104,210	329,460
対前年比	87.3%	63.3%	71.6%	39.3%	56.8%

3. 営業収支・当期純損益

(単位：千円)

区 分	定期旅客			定期外旅客	旅客運輸 収入合計	運輸雑収	営業収益 合 計
	通勤定期	通学定期	定期計				
元年度上期	18,205	25,380	43,585	71,804	115,389	31,351	146,740
2 年度上期	16,349	15,826	32,175	28,035	60,210	29,048	89,258
対前年比	89.8%	62.4%	73.8%	39.0%	52.2%	92.7%	60.8%

区 分	営業費	営業損益	経常損益	特別利益 (補助金)	当期純損益 (税引後)
元年度上期	144,102	2,639	3,007	500	3,507
2 年度上期	118,708	▲29,450	▲29,273	16,941	▲13,867

お問い合わせ先 … ひたちなか海浜鉄道 吉田、中山、大重
電話 029-262-2361